

新年明けましておめでとうございます。平成二十一年の新春を迎えるにあたり、ご挨拶を申し上げます。

昨年国内経済は、年前半については原油・原材料高の影響等により消費物価の上昇が顕著となり、年後半には金融市場の混乱に端を発した景気後退局面



株式会社沖縄海邦銀行  
頭取 嘉手納 盛 達

が鮮明となった年でありました。

沖縄県においては、春の高校野球全国大会(甲子園)で沖縄尚学高校が優勝するなど明るい話題もありました。しかし経済面においては、観光は引続き好調に推移したものの、原油・原材料高、競争激化により全般的に厳しい状況であった他、県内大手信販会社や本土中堅不動産「デベロッパー」の破綻による影響がみられました。

そのような経済状況の中、当行では、『不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資の推進』の一環として、売掛債権又は棚卸資産を担保とした融資「オーナライズABL」、環境配慮活動に対する支援資金「チュラ・アース」の融資商品の取扱を開始しました。また、当行独自

の融資商品の原油・原材料高騰対策資金「ワイド・エイド」、沖縄県信用保証協会の「原材料価格高騰対応等緊急保証制度」や「原油高騰対策支援資金」などの沖縄県制度融資の積極活用により中小企業支援を行ってまいりました。

また、県や県の外郭団体と連携し「OKINAWA型産業応援ファンド」に金融機関として唯一当行が参画しており、地域活性化につながる多様なサービスを提供しております。

今年も引続き、県内中小企業への円滑な資金供給に加え、当行の子会社である海邦総研と連携して事業先へのコンサルティングやビジネスマッチングへの取組等の一層の強化を図り、「地域に貢献し、共に発展する銀行」を目指してまいります。

更に、今年には当行の創業六十周年の節目の年であり、「地域密着に徹し地域社会の発展に寄与する」という当行の経営理念を更に推し進めた施策を展開してまいります。

これまで沖縄県商工会連合会とは永い取引をさせて頂いており、今後も商工会連合会及び各商工会と連携しながら県経済の活性化に貢献していきたいと思っております。

終わりに、本年も沖縄県商工会連合会及び会員の皆様にとつて実りの多い躍進の年となりますよう祈念いたしまして私の挨拶といたします。

平成二十一年 元旦



株式会社沖縄銀行  
頭取 安里 昌 利

新年、明けましておめでとうございます。皆様におかれましては良き新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は弊行に対し、格別なご愛顧、お引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。昨年は、米国のサブプライムローン問題

に端を発した世界規模の不況が、日本経済にも大きな影響を及ぼし、「百年に一度の信用収縮の津波の中にある」(米連邦準備制度理事会前議長グリーンズパン氏)ような激変の一年でした。

一方、県内景況はと申しますと、国内外からの観光客数増加や個人消費も横ばいなど比較的、減速感はないと言えるものの二部業種では厳しい状況が続いており、また、原油価格は落ち着きを取り戻しつつあると言えませんが、年後半の円高の観光への影響が懸念される所でありました。

そのような中、弊行では、原材料価格高騰対応等緊急保証制度などのセーフティネット関連融資の取組みを強化して

おります。県内中小企業の皆様とのSR活動(ストロング・リレーション活動)を進展させると共に、既存及び新規取引先企業の皆様の資金ニーズを的確に捉え、必要な事業資金を円滑に供給していきたいと考えております。

また、地域の発展に資する事業として「モノレール旭橋駅周辺地区市街地再開発事業」に取り組んでおります。これは、第一期、第二期の総事業費が三六二億円の民間主導初の再開発事業です。「旭橋都市再開発株式会社」様と連携し、主幹銀行として当該市街地開発を引き続き、先導してまいります。

本年も「地域密着・地域貢献」の経営理念の下、皆様に信頼される「ピープルズ

バンク」の実践に向け、役職員一丸となって取り組んで参る所存でございます。新年を向かえ、皆様のご多幸とご繁栄を心より祈念申し上げますとともに、今後とも変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

平成二十一年 元旦

